

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

登録番号 465

ふりがな 氏名	せき けんたろう 関 健太郎				
所属先	所属先名称	合同会社東北野生動物保護管理センター			
	役職名	主任研究員			
専門分野	総合対策 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（ ）				
対象鳥獣	シカ イノシシ サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣（ ）				
対応可能地域	全国 北海道 東北 関東 北陸 東海 近畿 中国四国 九州 沖縄 その他※特定の都道府県、地域（ ）				
免許及び資格	狩猟免許（銃：取得年 平成22年、 わな：取得年 平成22年） 鳥獣保護管理（ ） 鳥獣管理士（ ） その他（ ）				

活動実績	
活動期間	平成27年10月～令和元年3月
地域	宮城県仙台市
対策の種類	総合対策 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（ ）
対象獣種	シカ イノシシ サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣（ ）
活動の内容	仙台市の鳥獣担当者を対象に、市内に生息するサルの群れの生息状況を把握するための調査手法や群れ管理を実施するための対策（防除対策および捕獲対策）の進め方についてアドバイスした。また、これまで仙台市では群れの個体に電波発信器を装着して継続的に群れを追跡し、農作物被害対策の実施に活用されてきたが、より詳細な行動を把握するため、新たにGPS首輪を用いた追跡調査の実施を提案した。実際に平成30年度には1群にGPS首輪を装着し、調査により得られたデータの対策への活用方法や今後の展開について助言を行った。

活動実績	
活動期間	①平成29年6月～平成30年3月 ②令和元年6月～令和2年3月
地域	①宮城県丸森町 ②宮城県加美町
対策の種類	総合対策 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 野生動物管理 (生息調査含む) 処理 (焼却・減容化) 利活用 (食肉利用等) その他 ()
対象獣種	シカ イノシシ サル クマ (ツキノワグマ・ヒグマ) ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣 ()
活動の内容	いずれも各町の鳥獣担当者を対象に、サルの管理方法の基本とされている「群れ管理」について説明した上で、サルの群れの生息状況を把握するための調査方法および実施内容や農作物被害対策の方法について助言した。また①では、地域住民や鳥獣被害対策実施隊を対象とした研修会において、サルの生態や町内における群れの生息状況について説明し、カキなどの誘引物の除去や追い払い、侵入防止柵の設置等の各種対策の実施について指導を行った。

活動実績	
活動期間	平成31年4月
地域	岩手県遠野市
対策の種類	総合対策 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 野生動物管理 (生息調査含む) 処理 (焼却・減容化) 利活用 (食肉利用等) その他 ()
対象獣種	シカ イノシシ サル クマ (ツキノワグマ・ヒグマ) ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣 ()
活動の内容	岩手県猟友会から依頼があった地元猟友会隊員を対象とした研修会において、箱わなでのシカの捕獲方法について解説し、捕獲に関するアドバイスを行った。当該地域では主にくりわなでの捕獲が主流となっており、餌で誘引しての捕獲方法は馴染みがなかったことから、地道に継続的な餌付けを行い、シカのわなに対する警戒心を少しずつ下げていくことの重要性やそのための餌の散布方法について説明し、シカの出没状況を確認するためのセンサーカメラの活用方法等についても助言した。